

空海の見た景色

VIEWS OF KOBODAI SHIKUKAI

御社

第一の宮 丹生都比賣命 氣比明神
 第二の宮 高野明神(狩場明神) 巖鳥明神
 第三の宮 十三王子 百二十伴神

御大師様(東白河)の犬を連れる一人の狩人に身を変えられた
 高野明神(高野山麓)の天野に丹生明神(高野山)の地主神である
 高野明神と高野山麓の天野の両大明神は高野山の地主神である

AUDIO GUIDE
 音声ガイド
 No. 28

御社【miyashiro】
 御社とは、壇上伽藍の西端に高野山を見守るように鎮座する堂塔。真言密教の修禅道場である高野山の開創に際し、弘法大師空海が一番最初に造営したと伝わる。主祭神である丹生明神は、高野山開創の伝承にもある高野山一帯の地主神。唐から戻った空海は日本で密教を広めるにあたり、地元の神々によって教えが尊ばれ守られるという思想を打ち出し、神仏習合という思想の大きな原動力にもなった。現在でも修行者による四社明神への信仰は大切にされ、高野山内の各寺院にも神棚が祀られている。